

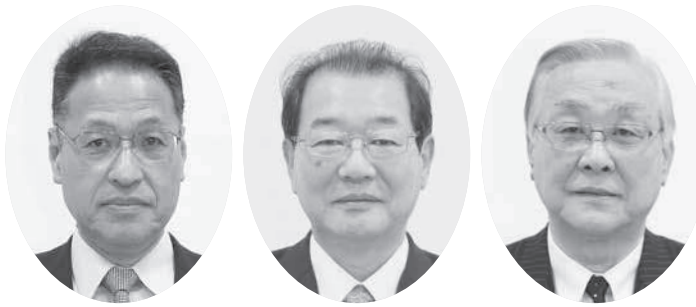
市政ニュース

市議会役員決定

議長は芝地邦彦さん、副議長は升田勝義さん

11月13日、市議会臨時議会が開催され、議会役員が決まりました。

議長に芝地邦彦さん、副議長に升田勝義さん、議会選出の監査委員に福田嗣久さんがそれぞれ選ばれました。



監査委員
福田 嗣久

副議長
升田 勝義

議長
芝地 邦彦

なお、各委員会の委員長、副委員長は次のとおりです。

(敬称略)

◎は委員長、○は副委員長です。

■常任委員会

【企画総務委員会】

◎岡谷邦人 ○安治川敏明

【市民福祉委員会】

◎伊藤 仁 ○峰高正行

【文教委員会】

◎古池信幸 ○嶋崎宏之

【建設経済委員会】

◎野口逸敏 ○井上正治

■特別委員会

【議会広報特別委員会】

◎広川善徳 ○関貫久仁郎

【交通網問題調査特別委員会】

◎奥村忠俊 ○岡 満夫

【庁舎建設調査特別委員会】

◎田中君代 ○村岡峰男

【議会改革特別委員会】

◎門間雄司 ○木谷敏勝

■議会運営委員会

◎森田健治 ○綿貫祥一

「地元名物ガイドが案内する

豊岡プレミアムツアー」を実施

兵庫神鍋高原マラソン全国大会実行委員会は、大会参加者の中から抽選で「地元名物ガイドが案内する豊岡プレミアムツアー」へ招待する企画を今年初めて実施しました。

10月のツアーには6組13人が参加。ガイドの案内のもと、コウノトリ文化館、城下町出石やハチゴロウの戸島湿地を



▲ジオカヌーを楽しむツアー参加者

姉妹都市「上田市」を訪ねる

「豊岡市民ツアー」を開催

11月9日から10日にかけて、姉妹都市・真田の里である上田市を訪問する豊岡市民ツアーを実施しました。

江戸時代、上田藩主仙石氏が出石へ、出石藩主松平氏が上田へのお国替えが縁で、昭和54年に旧出石町が姉妹都市提携を結び、新豊岡市も再調印しました。

上田市は、毎年、出石お城まつりに来訪され、参加されています。

ツアーには、56人が参加。初日別所温泉に宿を取り、2

日目は「上田城けやき並木紅葉まつり」会場を訪れました。母袋創一上田市長の熱烈な歓迎を受けるなど、ツアー一行は、2日間を堪能しました。



▲上田市ボランティアガイドから説明を聞くツアー参加者

固定資産評価審査委員会

委員が決まりました

市議会の同意を得て、牧井清子さんが任命されました。



[任期 平成26年 5月15日まで]

主な市政の動き

【10月】

19日・地域主体の公共交通「チクタク」予約システム

試験導入開始

・台風23号メモリアル事業(21日、28日)

・第21回全国中学新人競漕大会(28日)

31日・環境経済に関する連携協定を但馬信用金庫と締結

・市と豊岡南・豊岡北警察署が暴力団排除に関する合意書を締結

・竹野浜潮風浴歩キングコースオープン

【11月】

5日・「津居山かに」白色タグ

贈呈

「11月のJAL」は「兵庫・但馬」の地域活性化プロジェクト「JAPAN PROJECT」を実施

JALでは、機内誌や機内ビデオなどで「日本の素晴らしさ」を発信していく地域活性化プロジェクト「JAPAN PROJECT」を、地元自治体との協業により展開しています。

第19弾の11月は、ゆかたの似合うまち「城崎温泉」や但馬の小京都「出石」など、魅力たっぷりの「兵庫・但馬」が国内外に大々的にPRされています。

見が行われました。

プロジェクトの主な内容

- 機内誌「skyward」11月号に「兵庫・但馬」特集の掲載
- 国内線機内ビデオで「但馬の小京都 出石」「竹田城跡」を紹介
- 国内線ファーストクラスの機内食サービスで兵庫の食を提供（城崎温泉「西村屋本館」総料理長プロデュース）
- 羽田空港JAL国内線ダイヤモンド・プレミアラウン

「エコ」に貢献して、賞品を獲得

市民エコポイント第1回抽選会を開催

11月4日、市民エコポイントの第1回抽選会を総合体育館前広場で開催し、約500人が参加しました。

市民エコポイント10ポイントで1回抽選ができ、はずれはありません。会場には、29事業所から提供・協賛いただいた多くの賞品が並びました。また、賞品交換などは、日ごろ環境活動に取り組むガールスカウト日本連盟兵庫県第

61団の皆さんに手伝っていたできました。

オープニングでは、グリーンカーテンで10ポイントを得た中具市長が、「玄さん」の顔が描かれた大きなガラガラ抽選器の回し初めをしました。黄色の玉を出して電動アシスト自転車や当てる太田克彦さんは「うれしいです。コウノトリ育むお米の生産農家として抽選できました。これからも

ジで但馬の名産品の試飲・試食



▲共同記者会見には、JAL、県、市関係者が出席



▲抽選会には「玄さん」が駆け付け、参加者を応援

中具市長の徒然日記 ⑥1

いよつ！永楽館歌舞伎！

11月4日から、今年も永楽館歌舞伎がありました。柿落としから5年連続、片岡愛之助さんが座頭を務められ、同じく5年連続で中村孝太郎さんも出演されました。

「実録忠臣蔵」の「大石妻子別れの場」のクライマックス。豊岡ゆかりの場面です。

放蕩の内蔵助に愛想を尽かし、三行半を突きつけられて失意のうちに豊岡に向かう。父の元に駆け戻ろうとする子どもたち。制止する内蔵助の母。あだ討ちの本心をせめて母にだけ、祖母にだけは伝えたいという願いを父に叱責され、激しく悲しみ、苦しむ長男の主税。そして舞台中央で無言の内蔵助。

心を揺さぶられ、涙が出ました。周囲の観客も涙を拭き、鼻をぐすぐすさせています。歌舞伎の場面は、もちろんフィクションで、誇張でしょうが、あのときのりくたちの現実をつづめるとまさにそうなんだろうな、と思いながら

見ていました。特に私たち豊岡の観客は、りくを思い出し続いていたのです。愛之助さん、吉太郎さん、吉弥さん、新車さん、種之助さんが舞台から次々に打ち解けた口上を述べていけます。渦巻く笑い。最後にもう一度愛之助さん。突然、「えー、今日は中具市長さんのお誕生日だそう

でございます、お世話になっていろいろお礼に、口上ではありえないんですが、歌を歌います」 「ええ!？」 「♪ハッピーバースデートゥーユー」舞台と客席の大合唱です。なんだかもう、コウノトリになって大空に舞い上がるような気持ちでした。

最後に「鯉つかみ」。舞台に池があり本当の水を使います。近くの観客は雨がっぱを着て水しぶきを避けます。水の中の鯉との格闘。拍手喝采です。百十一歳になる永楽館。出石の方たちに守っていただき、復活しました。豊岡の暮らしが、実に楽しくなりました。感謝の言葉もあります。